

瑞雲

直方鉄工青年会

第 10 号



勇気ある決断と行動

会 長 佐 田 正 兼

日本経済は今後も素晴らしい発展を続けると確信していますが、中小企業をとりまく経済環境は一段と厳しさを加えて来て居ます。物価問題、自由化問題、公害問題、労働力不足、さらに情報革命や技術革新の下断の進展、都市化の進展等が、中小企業に解決すべき数多くの問題を投掛けて来ています。

組織に基本的な落度はないか、競争に打ち勝つ力があるか、資金繰りと税務に不安はないか、販売先や取引方法は適当か、生産の基礎となる技術は確立しているか、工程管理は科学的に行われているか、機械設備の質と量は適当か、外注先を選びそれをよく指導しているか、作業環境はよいか、雇用問題を真剣に考えているか、賃金制度は適切に定められているか、人は上手に育てられているか。

判断力、決断力、実行力により難関を勇気をもって、逃避せずひとつずつ解決していかねばなりません。管理者は、常に的確な判断を下せるよう最良のコンディションを保たねばなりません。又時間を大切に合理的な言動をとることを自分に対して、峻厳に規制していく、必要があります。

直方鉄工青年会も発足後7年になり、会員相互の気心も良く知り合い親睦の実は結ばれました。今年は、新組織である委員会の活動を充実したものにして、中小企業の管理者が解決せねばならぬ事柄を、一つ一つ調査研究し打開して行かねばならぬと考えます。

勇気ある決断と行動を望みますが、基礎となる豊かな判断力を養う機関として青年会を充分活用して下さい。

10周年を目標に会員の力を結集しよう

昭 和 4 5 年 度 新 役 員 の 抱 負



副 会 長
小野原 計 顕

今年度の会長は不言実行型の会長です。その会長の基で非常に綿密な計画性のある、事業を一つづつ実行し、それに依つて我々世代の経営者同志の意志の疎通を計り懇親を深め、一つの行事例会等にも多数参加が出来る様充実した興味ある会に成長する様にしたい。

酒、煙草を嗜まない非常に真面目で通つている竹馬の友の会長であるが、努力を惜まず良き女房役として今年度一年間を協力し、良き青年会として行きたいと思う。どうぞ皆様の御支援を御願い致します。



副 会 長
飯 野 大 三 郎

我々直方鉄工青年会も五代目会長佐田氏をむかえ1970年の激動の年を乗り越えてゆくことになった。

お互に顔を覚え性格を知るようになったが、今からが本当に時代の変遷に対応してゆくために、自分自身を反省し批判すると共に力を合せてゆかねばなるまい。

委員会の編成により会合を持つことが多くなると思うが、各委員会に出席することにより新しい知識を身につける機会が得られることと思う。浅学非才であるが会長を補佐し会の発展に尽してゆきたいと考えている次才です。



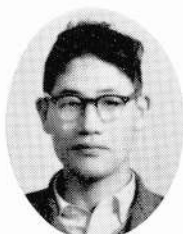
総務担当
弘 幸 泰

本会は今や親善交友のグループから、一歩前進した会に脱皮する為に、佐田新会長の就任を仰いだ訳です

が、青年会の基礎造りの為に、総務を御引受けして、その責任の重大さを今更乍ら痛感しています。

受けた以上は責任を全うすべく、大いにハツスルして会の為努力を惜しまないつもりです。どうか会員諸

兄も『我田引水』的な事を考えず、今年一年直方鉄工青年会再建の為に御尽力されん事を切望して止みません。



会 計
南 和 彦

今回新佐田会長の未だ無い委員会活動と云う制度に変わり、而も予算制と成り、各自の委員会が討議練習して発展すると云う大義に皆様と一緒に協力したい考えであります。尚委員会活動を強力にする為、出費の多い時節柄大変とは存じますが会費の協力方を御願申し上げます。数字経理に弱い私が会計係を仰せ付けられ微力乍ら一年間頑張つて参りますから皆様の御支援を御願申し上げます。



経 済 委 員 長
平 田 強

風も薫ると言う五月、うきを見つめ、魚影を追い、向いの山つつじに神経の安らぎを求め、山うぐいすの声に雑音を忘れる鮎釣、河用のゴム長で、かぞえる程しか車の通らない道を、びく片手に往来し、又河原を上下する孤独感、釣れた鮎の快い感触。釣の一刻に比べ、昨今の中小企業には若年労働力の先行不安、経済成長を押し物価の安定をはかろうとする政府、必然的に金融引締の強化、企業の倒産。日本よいとこに甘える学生、平和主義者、知識人など一部の人のお体裁のよい言動、神経の疲れる事が多い今日此の頃、びく片手に釣竿を持ち、ゴム長をポコポコ鳴らし、歩き、鮎釣にうつつをぬかすのも又一興ならずや。



厚 生 委 員 長
福 山 盛 樹

このたび広報委員の山本氏から、厚生委員としての抱負を書く様言われたのですが、何分にもこう言う事は苦手な私です。困り切つ

ています。さて前置はこの位にして、私の抱負を一言書かせて頂きます。今年度より、青年会が委員会制となりました事は大変良い事だと思います。この委員会制を実施されたのは、会員の出席率を向上させる事と会員全体で責任体制を取る事に意義があると思います

私の抱負ですが、厚生委員の仕事の一つである会員の出席率を向上させる事です。私達が努力しても、各人が出席する意志がなければ焼石に水。せつかく委員会制を取られた事だから、例会及び委員会に会員全員が出席して、会を盛り上げて行くべきです。

この会に入会した以上は、何らかの形で会に尽されるべきだと思います。会に協力する事で一番かんたんに出来る事は、例会及び委員会に一度でも多く出席する事だと思います。

私が会に入会して五年になりますが、私の記憶では例会で会員が揃った事は一度もなかったと思います。

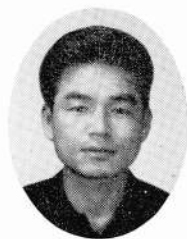
本年はあと10回の例会があります。是非一度で良いから全員出席と言う日を作るうではありませんか。私が出席率の向上を抱負としたのは、会の発展は全員出席から始まると思つたからです。私の抱負は小さい事かも知れませんが、皆様の協力無しでは出来ない事です。なお、厚生委員である私達が身を持って実行して行くつもりです。是非御協力下さる事を願つて、私の抱負として書かせて頂きました。



労務委員長

田中俊雄

直方鉄工青年会の一員に加えて戴いて二年有余になりました。今日の労働者不足の折柄御要望とはいえ、労務委員長という私にとっては大役を与えられて実際の処とまどつております。従業員の定着と育成には何かと研究もし方法も構じておる心算ですがなかなかかばかしくありません。皆様の御期待には添いかなる事も多々ある事と存じますが出来る限りやつてみます。何卒皆様の御支援の程お願い致します。



広報委員長

山本忠志

激動70年この激しい渦の中に直方鉄工界もままれて行かねばなりません。

そこには幾多の難問が待ち受けています。これからの企業のあり方、労務、公

害問題等研究してゆかねばなりません。青年会も今年度より新しい委員会制を作り、佐田会長の下で皆んな一団となつて若い力を集結し、問題と取組んでゆかねばならないと思います。そのための連絡網の役割を少しでも果したいと思つておりますので皆様方の御協力をお願い申し上げます。

青年会行事報告

才4回 ボーリング大会開催

主催 厚生委員会
担当 岩野、中岡

才4回ボーリング大会は5月26日PM6時30分より直方ボーリングセンターで開催白熱したゲームを展開しましたが、前年度優勝の高ノ浦君を押えて弘君が宿願の優勝を遂げました。主な結果は次の通りです。

優勝	弘君	得点 461 (3ゲーム)	153.9
準優勝	中岡君	457点	
ラッキー賞	若林君	343点	
B.B.賞	飯野(大)	260点	
H.G.賞	中岡君	190点	

ソフトボール大会

主催 厚生委員会
担当 若林、福山

親善ソフトボール大会は6月8日市民グランドにて直方基準監督署との間に行なわれました。結果は6対4で監督署の逆転勝ちでした。



…… 写真はソフトボール大会 ……

市首脳部を囲む懇談会

主催 労務委員会
担当 平田 強

労務委員主催の市首脳との懇談会は、市側から西村市長始め助役の川原氏、商工課長加藤氏、企画財政課長赤瀬氏、市議会から経済委員長坂田氏、以上5名を迎えて組合会議室で行なわれました。

青年会より ①市の鉄工助成に関する予算について ②固定資産税について ③公害防止条例の施行に関し工場地域の設定 ④地元企業の為の団地造成について ⑤ 誘致企業が地元企業の労務面に及ぼす影響について ⑥その他 以上の質問項目にそつて話し合いを行ない熱つばいふん団気の間に終了しましたが、今後の直方鉄工界のあり方に有意義な懇談会でありました。

ここに此の会合の場に御協力下さいました市首脳部の方々に厚くお礼申し上げます。

◎ 追 想 ◎

直方鉄工組合理事長
弘 貞 利

昭和45年5月23日。

直方鉄工組合第71回総会。総会は何といつても組合行事中の最たるものであるだけに、これを終ると一安堵。心の安らぎを覚えると同時に、早くも次の年への緊張をも感じます。総会散会のあと、理事長室の椅子にゆつたりと腰をおろして、一服の番茶をすするとふつと今日1日の事を思い返します。と、それが次第に広がって行つて過ぎし1年を回想し、去年の第70周年記念祝典の折のことにまで遡つて、その時の様がありありと眼に浮かんでまいります。

感激し易い私は、実は今日も会場であやうく涙を見せる所でありましたが、昨年のあの日も、私は演壇に立つて挨拶を述べながら、魂は現実から抜け出て過去の夢の中をさまよひ、初めはそれでも現実に戻ろうと努力をしていましたが、長い歴史の中の思い出が走馬燈のように駆け巡つて脳裏に去来し、遂に我を忘れてしまいました。

短い時間であつたでしょうか、それでもその瞬間に幾多先輩の在りし日の面影、それらの方々の数々の業績、波乱万丈、紆余曲変の業界苦闘の歩みの跡が歴史とよみ返つて、感涙を誘つてしまいました。そしてそのまぼろしの影は、正しく私自身の人生史をも展開して見せてもらいました。

大正5年私の叔父福田三平が、直方津田町小金小路にささやかな工場を開いたのが元で、私も、私の息子も鉄工界に身を投じ生計を樹ててきました。その始祖福田三平もかつては組合長に選任されて不束ながらも業界並びに組合発展を念じて微力を尽しましたが、遂にいささかの功績もあげ得ずして終りました。計らずも浅学非才の私が、理事長という重責を負ひまして

年、瘦腕またしても叔父の轍を踏み、何等なすところもなく日を過しましたることを思い、誠に汗顔の至り慚愧に堪えぬ次第であります。

然しながら組合員各位の理解と協力、並びに地域諸賢の御声援、加えて外郭多数の御芳情あふるる御指導によりまして、私自身の独力にては到底望み得べくもない今日の発展と隆昌を見、併せて堂々豪壯の組合事務所の新築、更には70周年記念大祝典の開催など私の在任中に空前の大事業を実現していただき、その栄光に浴させていただきましたことを衷心より感謝申し上げますの次第でございます。

「感極まつて声が喉につまつて言葉にならず」「言葉が声となつて口に出ない」。千万無量の感動が胸を押し、じんと臉を熱してほと走り出る涙を、どうとめようとしても止まらず、どうかくそうとしてもかくせず、茫然自失、我を忘れて立ちすくんでいました。

「皆様の御厚情を謹んで深く御礼申し上げ、併せて将来の御鞭撻を御願ひし且つ組合の発展を皆様と共に祈ります」とのこの一言が声とならずに立往生の体に陥入つてしまいました。

この醜態と無礼、今思ひしても慚愧に堪えぬ次第でございます。人生は苦難の歴史、私の生涯も全く苦闘そのものの連続でございます。

悲しく苦しい事の多い中に「男泣き」する程に嬉しく、生涯忘れ得ぬ晴々しい印象に心躍る私、組合変遷70年史に懐旧の涙を流す私、心情御賢察いただき、あの日の失態を御許しいただき御忘れ下さるよう茲に改めて紙上を以て御詫が申し上げます。

前途更に多難の節緊禪一番、全力を傾注して御期待にさうよう献身する決意でございますので皆様におかれましても格段の御助力と御叱責とをいただきますよう切望いたします。

1970年5月

× × × ×

会社消息 明神団地

現在直方地区での才1号の団地である。この中に会員である吉田精機、福永鉄工所両工場を訪問してみました。大きな工場の建物整理整頓された工場内では従業員の人達ものびのびと仕事に励んでおられ全く工場らしく感じました。以下団地へ来ての感想を聞いてみました。私達は団地に来る前はいろいろと考え悩んだものでしたが、現在では良かったと思つています。

才一公害の心配はなく労務問題では今までの工場とのイメージチェンジを計り、従業員の定着性を増すため希望の持てる職場としての安全管理福祉厚生等企业環境に力を入れている。又仕事面では協同組合の運営や活動に幾多の問題を残しているが、各自の努力と研



究で解決出来ると思う。そして組合の利点や特長を生かし活用して明神団地の発展ひいては直方鉄工界の発展に役立てねばならないと大いなる斗志と希望に燃えておられました。

設備・機械

小野原鉄工所

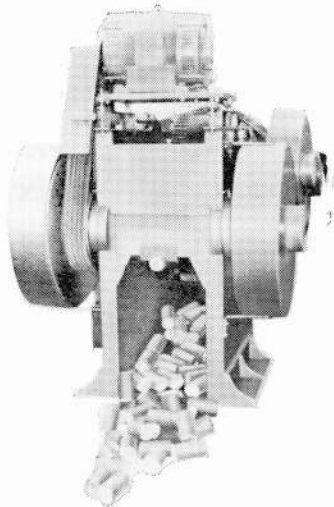
直方市溝堀 TEL ② 0392

特殊剪断機 W-100型
(東陽建設工機製)

丸鋼 — 100耗
角鋼 — 90耗

までの材料を連続切断可能で作業能力向上

単気筒型ハンマー (齊藤鉄工所製) 設置

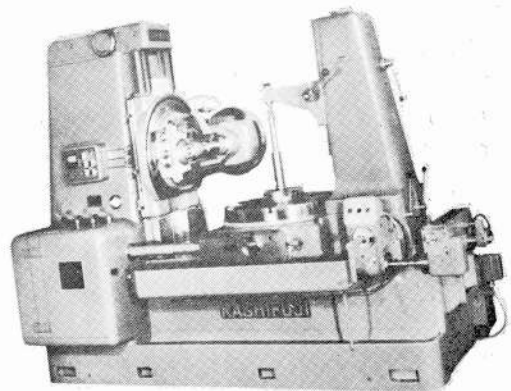


大屋鉄工所

直方市神正町9 TEL ② 1452

ホブ盤 KR-1,000型 (輕藤鉄工製) 設置

これによつて 外径1,000M=10巾=250
までの精度の高い歯切加工が出来又作業能力も向上した。



会員の素顔

12チャンネル社長

飯野 精一郎

飯野鉄工所明治30年開業と古い歴史を持つ工場である。ポンプ及機械工具製作に力を入られている彼は鉄工マンにはほど遠い感じの万年若社長である。

奥さんから見た彼は欠陥の無いのが欠点で、私が恐妻家に思われて困りますと羨しい批評でした。家族は二男一女の子供さんを製作？されています。欠陥の無い証拠でしょう。

趣味は盆栽いぢりでお金と暇が出来たら独りで欧州旅行に行つて見たいそうです。青年会に対して次の様に語つておられます。「私は入会して多くの人達と仲間が出来、そこには目に見えない人間対人間の繋がりが出来ました。これはお金で買うことの出来ない尊い物です。これはこれから先事業を続けてゆくのに大いに役立ち心強い柱となることでしよう。

この意義ある青年会を尚一層深い繋りの場となる様会員一人一人の協力を望んでやみません。」と全く同感致しました。12チャンネルとは教育番組でその意味を表わしています。

平田鉄工所

平田 強

昭和25年自分の技術を生じて独立、現在では直方機車の専属工場である。彼は雇人の気持をよく理解し若い人達の技術指導に自ら当つている。家庭では奥さんが自慢の料理作りに忙しそう、どうですかと尋ねると物価が上り台所のやりくりも骨が折れます大蔵省(主人)はもつと予算を増して頂きたいと大幅な買上げの要求でした。

彼は地味な性格で魚つりや野球見物が好きで、将来の希望は現在の工場の内容を充実させて少数精鋭主義で行き、従業員の福祉施設として近々テニスコートを作る予定だそうです。

青年会に対しては会員の会合の出席が悪い、これは各自の会に対する責任感が薄い為である。会員の自覚と反省をうながしもつと芯のある会に育てたいし、皆んな協力すべきであると厳しい御意見でした。

最後に平田氏式のお金の儲かる秘訣を教えてくださいました。若さを保ち何事にも腹を立てず、よく働き無駄

金を使わないこと。以上でした。

編集にあたり飯野、平田両君の奥さんの御協力を賜りました事を深くお礼申し上げます。

委員会報告

厚生委員会

S.45.5.8 (組合会議室)

年間事業計画及予算決定各行事担当者選出

S.45.6.29 (組合会議室)

従業員との懇談会について協議

広報委員会

S.45.5.16 ()

年間計画協議会報「瑞雲」の編集方法決定

S.45.6.4 ()

会報「瑞雲」の編集打合せ

7月ゲストの協議

労務委員会

S.45.5.18 ()

年間事業計画及予算決定

S.45.5.25 ()

直方労政事務所・河野所長を招き従業員の意識調査及労務研究について意見を聞く

経済委員会

S.45.5.20 ()

年間事業計画及予算決定

S.45.6.6 ()

市首脳との懇談会運営について協議

広報だより

新入会員を募集しています 候補者がありましたら至急連絡下さい。

曲がりなりにも45年度瑞雲1号を発刊しましたが不慣れな為内容も良く出来なかつた事と発刊が遅れた事をお詫び申し上げます。

発行所 直方市殿町 直方鉄工協同組合内
直方鉄工青年会 TEL ② 3241

発行日 昭和45年7月18日

号数 第10号

編集者 山本 忠志

印刷所 大同精版印刷(株) TEL ② 0878